

# 福祉活動推進員ってどんな人？

## 福祉活動推進員とは

福祉活動推進員は、住民同士の助けあいの輪が広がるよう、温かいまちづくりに向けて取り組む地区部会活動の中核を担う方々です。

法律や条例で定められたものではありませんが、地区部会ごとに原則として3名以上の配置をお願いし、地域の福祉向上のための活動を推進する役割を担っています。

千葉市社会福祉協議会では地区部会長からの推薦に基づき、昭和62年から福祉活動推進員を委嘱し、現在は約470名の推進員が地域の福祉課題をよりよい方向に導けるよう、地区部会関係者とも連携・協力し、活動しています。



活動インタビュー  
301(作草部・天台)地区部会

## おはなしをうかがいました！

**福祉活動推進員を始めたきっかけを教えてください。**

- ・地区部会で活動されている方に「もしお時間があれば、ちょっとやってみませんか？」と声をかけられて、ほんのお手伝いの気持ちで始めました。
- ・地域の集まりに参加していて、そこで声をかけられました。「もう歳だし、私にはできなそう。」と悩みましたが、家族の後押しもあり、今まで続けています。



地区部会長と福祉活動推進員の皆さん。素敵なお話しの心が温まります。

## 活動の心がまえ

できることからコツコツと…“無理せず気長に”

- ① 「無理をしない」「気負わない」
- ② 相手の気持ちに寄り添って
- ③ 一人で抱え込まず、コミュニケーションを取りながら



抜群のチームワーク！お互いを支え合います。(社協まつりの準備中)

**普段はどんな活動をしていますか？**

皆で協力して行事や講座、会議の準備をするほかに、会議等の記録、広報、活動の報告、会計など、事務仕事はそれぞれに分担しています。今日も、1人お休みですが、誰かがいないときは、皆でカバーし合います。

**活動していて良かったと思うのはどんなときですか？**

講座や集まりにとっても楽しそうに参加してくれる皆さんの顔を見ると、やる気につながります。自分にとっても、地域や社会とのつながりができて、こうして良い仲間にも恵まれて、感謝しています。

**チームワークの秘訣を教えてください。**

私たちが活動を始めた頃、ちょうどメンバーが大きく変わった時期でした。何も分からず苦労することもありましたが、皆で協力して考えてやってきたのが今につながっています。それぞれが色々な事情を抱えながらも、無理の無い範囲で、お互いの持ち味を生かして、支え合い、補い合って活動しています。この活動をこれからの世代にもつないでいきたいです。